

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
	○			

事務事業No 147 事業名 自然公園保護事業（清掃等）

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費
	その他		
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務
	その他		
会計・予算区分	会計		一般会計
	款		衛生費
	項		環境保全費
	目		環境保全政策費
	大事業		環境保全政策事業
事項		自然環境保全事業	

分野別目標	4	自然環境と都市基盤が調和した快適なまち
政策	4	自然環境・資源循環型社会の形成
施策	2	自然環境の保全と創造
取組	2	豊かな緑の創造と育成

事業種別	継続	主な事務事業
事業期間		～
関連個別計画	環境基本計画、緑の基本計画	
担当課・担当課長 (Tel)	環境政策課	瀧谷 善範(435-1114)
関連課		

「3つの磨き」との関連性

「市民力を磨く」		「基盤力を磨く」		「観光力を磨く」		該当せず	○
コミュニティーの充実		メリハリある都市づくりの充実		史跡和歌山城の充実			
市民の健康環境の充実		道路・公共交通網の充実		海を生かした観光シフトの充実			
総合的な子育て環境の充実		総合防災体制の充実		美味しい和歌山市イメージの充実			
その他		その他		その他			

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする）ための事業か）	事業内容				
	すぐれた自然公園の風致景観を保護し、利用の増進を図る。	自然公園の風致景観を保護するため、国・県・関係市町と連携・協力し、監視に努める。 ・公園内の巡視 ・自然公園関係都市協議会への参加 ・開発行為等に係る照会回答				
実施内容		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		自然保護監視員による自然公園等の巡回	自然保護監視員による自然公園等の巡回	自然保護監視員による自然公園等の巡回		

2 事業コスト

事業費 千円		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算
	事業費	95	109	61	59	20	20	20			
	伸び率 (%)	-	-	-35.8%		-67.2%		0.0%		-100.0%	
	人件費	常勤職員	719	806	887	313	887	305	887		
		非常勤職員									
	小計	719	806	887	313	887	305	887			
	国庫支出金										
	県支出金										
	市債										
その他											
一般財源 (税等)	95	109	61	59	20	20	20				
所要人数	常勤職員	0.09	0.11	0.12	0.04	0.12	0.04	0.12			
	非常勤職員										

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	自然公園等巡回数				年度目標値	24	24	24	24
					実績値	24	24	1	
	単位		全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度	100.0%	100.0%	4.2%	
					年度目標値				
					実績値				
成果指標	自然公園の面積				年度目標値	482	482	482	482
					実績値	482	482	482	
	単位	回	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度	100.0%	100.0%	100.0%	
					年度目標値				
					実績値				
	単位	ha	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度				

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 事業の方向性

方向性	A 計画どおり事業を進めることが妥当	B 1 事業の充実に向けた見直し	担当課評価 (所属長記載) A
	B 見直しのうえで継続	B 2 コスト削減・成果上昇	
	C 終了	B 3 類似事業との統合	
	D 休止	B 4 外部委託導入・拡大	
	E 廃止	B 5 受益者負担の適正化	
		B 6 終期設定	
		B 7 その他効率化	

担当課評価の根拠	本市の豊かな自然環境保全のため、引き続き自然公園の現状を把握し、海域・山林等の環境保全に努めるとともに、快適で適正な利用を推進することが必要である。
「見直し」 「改善」案 ※上記、担当課評価が「B」評価の場合のみ	